

平成22年 10 月 吉日

各位

追手門学院大学 経営学会
会長 地代憲弘

拝啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて昨今の厳しい雇用情勢の中にあって学生の就職難が大きな課題となっています。
それにともない、大学といたしましては学生の就業力向上のための取組を強化し、企業にとつて有益な人材を育てる必要が高まって参りました。

そのような情勢に鑑み、このたび国として「大学生の就業力育成支援事業」により、大学生の就業力育成に対し優れた取組を計画している大学を支援することになり、9 月 28 日付けにて追手門学院大学が選定されました。これを受け、追手門学院大学といたしまして企業との緊密な連携のもと、大学生の就業力向上に積極的に取り組んで参る所存でございます。

そのための方策といたしまして、「エクゼクティブのための経営力革新フォーラム 2010」につきまして、講演会に大学生(3 回生中心)も参加させ、講演会の後企業のトップマネジメントの方々と学生の間で、懇親会の形式による交流の場を設けさせていただき、皆様からのご指導をいただくよう開催趣旨を変更いたしたいと存じます。

お願いの趣旨を考え、5 万円とご案内申し上げました講演会参加費は無料とさせていただきます。また、3 人の講師の方による講演内容、お時間につきましては変更ございませんが、企業からご参加いただく人数を80名程度予定いたしております。

私どもの都合により、このように講演会趣旨を変更することになり誠に申し訳ありませんが、なにとぞご理解のうえ、改めて「エクゼクティブのための経営力革新フォーラム 2010」へのご参加を心からお願い申し上げますとともに、お知り合いの方々にもお勧めいただきたく合わせてお願い申し上げます。

ご参加いただける場合、お手数ですがパンフレットダウンロードのうえ、4 頁目に懇親会への出欠も含めご記入のうえ、ファックスいただきたく重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、今後ますますのご発展、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

エグゼクティブのための 経営力革新フォーラム 2010

日本を代表するリーダーが語る
経営イノベーションを
企業の経営者が学ぶことにより、
企業の経営革新のあり方を見出す
短期経営力革新フォーラム

日時

2010年**11月19日**  午前10:00～午後7:00

会場

追手門学院 大阪城スクエア

主催

追手門学院大学 経営学会

共催

(社)ソフィア・イノベーション

後援

茨木商工会議所

吹田商工会議所

高槻商工会議所

日本アイ・ビー・エム(株)

SAP ジャパン(株)



経営力革新フォーラム 2010

日本を代表するリーダーが語る経営イノベーションを企業のトップマネジメントが学ぶことにより、企業のこれからの経営革新のあり方を見出すための短期経営力革新フォーラムです。各分野でご活躍をされているご講演者の方々に、経営のあり方、トップマネジメントのリーダーシップ、企業における経営改革事例について体験にもとづき具体的にご講演いただきます。卓越したご経験にもとづく内容は、十分皆様のお役に立てるものと確信いたしております。

この講演会は、企業のトップマネジメントの方々を対象に開催いたします。なお講演会の後に皆様方の継続的交流を実現できる交流会を設定させていただきます。

● 講演会内容

日本の経営精神

健全な資本主義を成り立たせるには、営利主義や合理主義よりも大切な精神があります。日本企業が失ってしまったこの何か大切なものを「経営の精神」という言葉で表現したほうがよいのではないかと考えるようになってきました。

経営精神には「市民精神」「企業精神」「営利精神」の3つがあり、日本企業の多くはこのバランスが崩れてしまいました。日本企業にとって大切なこの「経営精神」をどのようにすれば取り戻すことができるかを考えお話しいたします。

日本IBMの経営改革

「それまでハードウェアの販売が中心であった日本IBMの経営改革を主導し、サービス・ビジネスによる成長路線を確立した経緯や社長就任時に「お客様志向の会社」「情報産業の変革をリードする会社」「自由闊達な会社」の3つのビジョンを掲げ、実行した幾つかの構造改革についてお話しいたします」

コーチング革命 —スポーツにおけるマネジメント・イノベーション—

コーチングに絶対的なものはありません。全て相対的なものです。それは対象が人間という、気分や感情に支配されている生き物だからです。コーチングに普遍的法則があるとすれば、それは「目的地に近づく」ということだけです。時代とともに変わるコーチングの体験とそれに伴う内省を基にお話させていただくことにより、今後のコーチングを模索する手掛りとなればと思う次第です。

● 講演会日程

月 日	時 間	テ ー マ	講 師
11月19日(金)	10:00～12:00	日本の経営精神	加護野忠男氏
	13:00～15:00	日本IBMの経営改革	北城恪太郎氏
	15:30～17:00	コーチング革命	平尾 誠二氏
	17:30～19:00	懇 親 会	

● 講師ご紹介

加護野忠男氏

神戸大学 経営学部教授、経営学博士



1970 年 神戸大学経営学部 卒業
1975 年 神戸大学大学院博士課程 修了
ハーバード・ビジネス・スクール留学
1979 年 神戸大学経営学部 助教授
1988 年 神戸大学経営学部 教授・経営学博士
専門分野：経営戦略論・組織経営論

【主要著書】経営組織の環境適応（白桃書房）、日本企業の多角化戦略（日本経済新聞社、日本経済新聞社経済図書文化賞受賞）、日米企業の経営比較（日本経済新聞社、組織学会賞受賞）、ゼミナール経営学入門（日本経済新聞社）、組織認識論（千倉書房）、企業のパラダイム変革（講談社現代新書）、日本の企業システム（共著：有斐閣）、日本型経営の叢知（共著：PHP 研究所）、競争優位のシステム―事業戦略の静かな革命（PHP 新書）、日本型経営の復権（PHP 研究所）、経営の精神（生産性出版）など多数

北城 恪太郎氏

日本アイ・ビー・エム株式会社最高顧問、国際基督教大学理事長
経済同友会終身幹事、国家公務員倫理審査会委員、ngi group 株式会社取締役



1967 年 慶應義塾大学工学部卒業
1972 年 カリフォルニア大学大学院（パークレー校）修士課程修了

＜日本アイ・ビー・エム株式会社社歴＞

1967 年 日本アイ・ビー・エム株式会社入社
1986 年 同 社 取締役
1993 年 同 社 代表取締役社長
1999 年 IBM アジア・パシフィックプレジデント兼
日本アイ・ビー・エム株式会社 代表取締役会長
2003 年 日本アイ・ビー・エム株式会社 代表取締役会長
2007 年 同 社 最高顧問

＜経済同友会歴＞

1987 年 社団法人経済同友会入会
2003 年 同 会 代表幹事
2007 年 同 会 終身幹事

【主要著書】経営者、15 歳に仕事を教える（文春文庫）、IBM お客様の成功に全力を尽くす経営（ダイヤモンド社）など多数

平尾 誠二氏

神戸製鋼ラグビー部総監督、（財）日本サッカー協会 理事
NPO 法人スポーツ・コミュニティー・アンド・インテリジェンス機構（SCIX）理事長



同志社大学大学院「総合政策科学研究科」修士課程修了
京都市立陶化中学入学と同時にラグビーを始め、伏見工業高校 3 年時、全国大会優勝
同志社大学在学中、史上初の大学選手権 3 連覇に貢献
1 年間の英国留学を経て、1986 年に（株）神戸製鋼所に入社、
入社 3 年目より 7 年連続日本一に導く
1987、1991、1995 年のワールドカップに、3 大会連続して出場、
1991 年時はキャプテンを務め、日本代表初勝利を飾る
現役引退後、1997 年から 2000 年まで日本代表監督を務め、
1999 年のワールドカップにチームを導く
神戸製鋼ラグビー部では、ゼネラルマネージャー兼総監督としてチームの運営・指導にあたる
2000 年、「スポーツに関心を寄せるすべての人々のコミュニティーの健全な発展に寄与する
ことを目的に、特定非営利活動法人「スポーツ・コミュニティー・アンド・インテリジェン
ス機構（SCIX）を設立し、理事長に就任
2008 年（財）日本サッカー協会 理事 就任

【主要著書】人は誰もがリーダーである（PHP 新書）、型破りのコーチング（PHP 新書）など多数

2010年
11/09
火

FAX 送信先 ▶▶ 072-643-5742

追手門学院大学 学長事務室

申 込 日	2010 年 月 日		
勤務先名		所属部署名	
フリガナ			
氏 名			
住 所 (勤務先又はご自宅)			
T E L (勤務先又はご自宅)		F A X	
E-mail			

定 員
受 講 料

一般企業の方：80名、学生80名

無料（懇親会込み）

講演の後、懇親会（学生も出席させていただきます）を

企画いたしましたのでご出席賜りたくお願い申し上げます

懇親会： ご出席 ご欠席（いずれかに丸をお付けください）

記載いただいた情報は、受講料納入のご案内と今後の本学開催イベント案内送付にのみ使用いたします。第三者に開示・提供されることはありません。

個人情報について

問 い 合 わ せ 先

**追手門学院大学 学長事務室 TEL：072-641-7749
FAX：072-643-5742**

会場へのアクセス

追手門学院 大阪城スクエア

〒540-0008
大阪府中央区大手前 1-3-20
☎06-6942-2788

- 京阪電車「天満橋」駅下車
東出口 14 番より東へ徒歩 7 分
- 大阪市営地下鉄谷町線
「天満橋」駅下車
1 号出口より東へ徒歩 7 分
(ドーンセンター隣)

